

2016年1月18日

住友商事株式会社

日本電気株式会社

NEC ネットズエスアイ株式会社

株式会社モリタ

サンワコムシスエンジニアリング株式会社

Bangladesh の国際空港に、航空保安設備を納入 ～JICA による ODA 資金を活用～

住友商事株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村邦晴、以下「住友商事」）は、日本電気株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：遠藤 信博、以下「NEC」）、NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役執行役員社長：和田 雅夫、以下「NEC ネットズエスアイ」）、株式会社モリタ（本社：兵庫県三田市、代表取締役社長：尾形和美、以下「モリタ」）、サンワコムシスエンジニアリング株式会社（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：山崎博文、以下「サンワコムシスエンジニアリング」）の各社と共に、Bangladesh 民間航空局から、Bangladesh の主要空港向けの航空保安設備納入プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）を受注しました。受注金額は約 23 億円で、独立行政法人国際協力機構（JICA）による ODA 資金（一般無償資金）が活用されます。

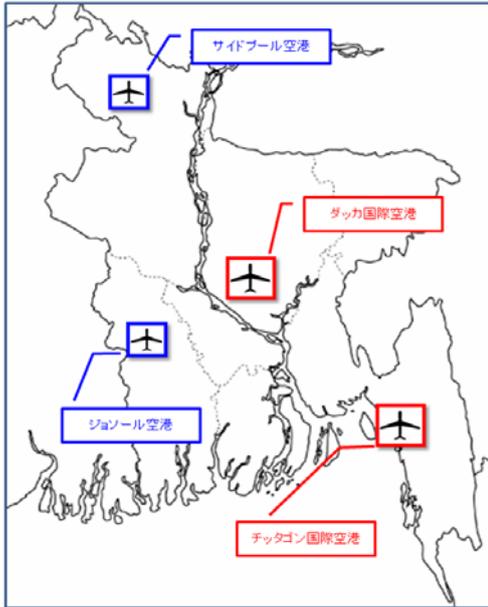
本プロジェクトは、Bangladesh 国の主要 4 空港（ダッカ国際空港、チッタゴン国際空港、ジョソール空港、サイドプール空港）における、航空機誘導と着陸の安全性確保、航空機事故発生時対策、テロリスト対策を目的とするものです。航空管制システムは NEC、その設置を NEC ネットズエスアイ、空港セキュリティーシステムはサンワコムシスエンジニアリング、空港用消防自動車はモリタからそれぞれ住友商事が調達し、2016 年度末の設置完了を予定しています。

1 億 6,000 万人超の人口を抱える Bangladesh は、縫製業等を強みに近年は毎年 6 パーセントを超える経済成長を遂げています。経済成長に伴い航空需要（旅客数・貨物量）とともに航空需要も年々増加しています。一方で、主要空港における航空保安設備の老朽化や未整備が大きな課題となっており、Bangladesh 政府は 2011 年に制定した第 6 次五ヶ年計画において航空保安設備の近代化を主要目標に掲げています。また、日本政府も Bangladesh の各種インフラ整備の支援に力を入れており、今後 4、5 年

で最大 6,000 億円の政府開発援助を実施することを表明しています。

本プロジェクトは、この政府開発援助（ODA）の一部を活用するもので、バングラデシュ国の主要空港における航空保安設備を近代化することによって、同国の航空輸送の効率性・安全性・信頼性の向上に寄与し、物流・観光業の成長に貢献します。

■参考資料 1： サイト地図



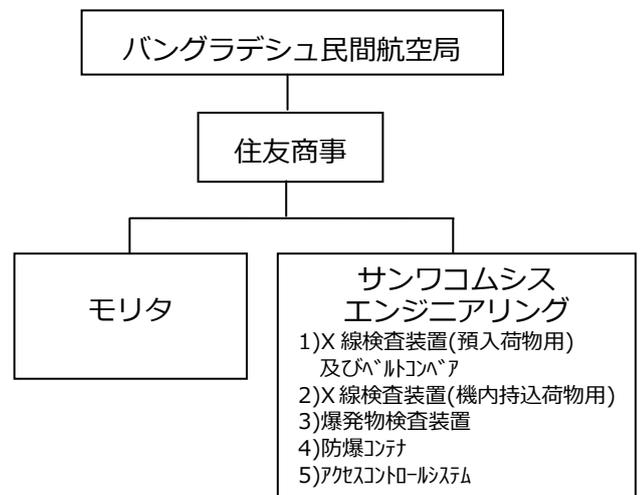
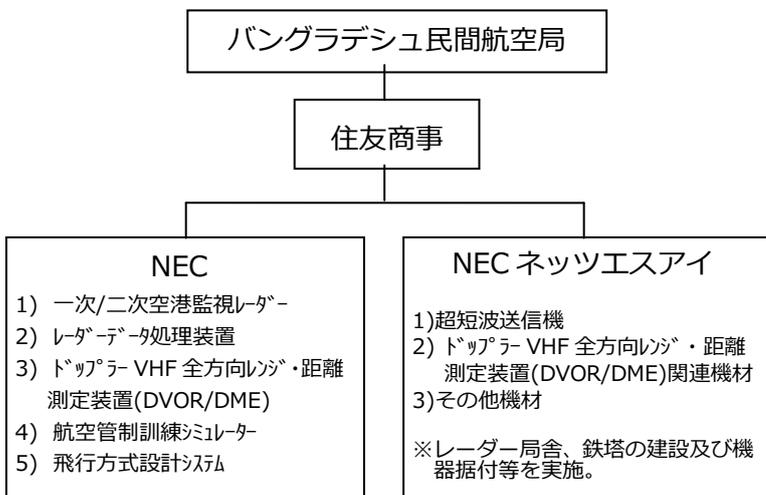
■参考資料 2： 納入機器概要

①航空管制システム

納入先：ダッカ、チッタゴン、ジョソール、サイドプール

②空港保安設備

納入先：ダッカ



以上

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として
お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

NEC ネットズエスアイ株式会社

CSR コミュニケーション部 コーポレートコミュニケーショングループ

電話 : (03) 6699-7007

E-Mail : contact@dm.nesic.com